



**駐車場のご案内**

〈営業時間〉8:30～21:30(通年)  
 〈休業日〉12月29日～12月31日  
 〈駐車料金〉普通車 216台 1時間 200円  
 (内身障者用5台)  
 大型車 11台 2時間迄1,600円 以降1時間毎に800円

お問い合わせ先  
**「舞子海上プロムナード」舞子公園管理事務所**  
 〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町2051番地  
 TEL.(078)785-5090 FAX.(078)785-5109



**●舞子海上プロムナード**

**開館時間**  
 9:00～18:00(通年)  
 9:00～19:00  
 (ゴールデンウィーク・夏休み)  
 最終入館 閉館30分前

**休館日**  
 4月～9月:無休  
 10月～3月:毎月第2月曜日  
 (祝日の場合は翌日)  
 12月29日～12月31日

**●旧木下家住宅・旧武藤山治邸**

**開館時間**  
 10:00～17:00  
 (旧木下家住宅  
 12月～2月は16時まで)  
 最終入館 閉館30分前

**休館日**  
 月曜日(祝日の場合は翌日)  
 12月29日～1月3日

- 高校生・中学生・小学生以下は無料
- 高校生・シルバー(70歳以上)の方は年齢確認のできるものが必要です。
- 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を提示の場合は、本人およびその付添者1名が入館料無料となります。

便利でお得な **3邸めぐり入館券** も発売しております。

旧武藤山治邸	旧木下家住宅	孫文記念館(移情閣)
--------	--------	------------

大人 **340円** ※各邸窓口で販売致しております。  
 ※3邸のうち1邸でも休館の場合は、販売は致しません。

## 孫文記念館 (移情閣)

Sun Yat-sen Memorial Hall (Ijokaku)

孫文を顕彰する日本で唯一の博物館

この記念館は、中国の革命家・政治家・思想家である孫文を顕彰する日本で唯一の博物館です。神戸で活躍していた中国人実業家呉錦堂の別荘「松海別荘」を前身としており、その別荘の東側に「移情閣」が建てられました。その後、兵庫県が「移情閣」を管理していた神戸華僑総会から寄贈をうけ、改修を行い、1984(昭和59)年11月12日、孫文生誕の日

**入館料**

一般	土・日・祝日	300円	150円
一般	平日	250円	100円
団体(20名以上)	土・日・祝日	200円	120円
団体(20名以上)	平日	200円	100円

お問い合わせ先:「孫文記念館(移情閣)」  
 〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町2051番地  
 TEL.(078)783-7172 FAX.(078)785-3440

## 橋の科学館

Akashi Kaikyo BRIDGE EXHIBITION CENTER

明石海峡大橋のすべてがわかるサイエンスミュージアム

本州四国連絡橋は風、地震、潮流、複雑な海底地形などの自然条件、輻輳する航行船舶、漁労船など海峡を取り巻く厳しい建設条件などを様々な技術開発と創意工夫により克服し、調査から40年の歳月を費やし完成するに至りました。「橋の科学館」は、その本州四国連絡橋のうちでも世界一を誇る明石海峡大橋を主体に本州四国連絡橋の建設に使われた、世界最高水準の架橋技術を一堂に集め、人々の知的向上心を高める学習の場として、また架橋技術をわかりやすく紹介したサイエンスミュージアムです。

お問い合わせ先:「橋の科学館」  
 〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町4-114 TEL.(078)784-3339

便利でお得な **3館共通入館券** も発売しております。

孫文記念館(移情閣)	舞子海上プロムナード	橋の科学館
------------	------------	-------

大人 **680円** ※各館窓口で販売致しております。  
 ※発売日から1ヶ月間有効です。払い戻しは致しません。  
 ※3館のうち1館でも休館の場合は、販売は致しません。

**あらまし**

千鳥通う白砂青松の舞子浜は、古くから詩歌に詠まれ、陸路を、海路を旅する人にこよなく愛されてきました。特に明治天皇はこの地をことのほか愛され、7回行幸されました。兵庫県は明治33年(1900)、この天下の景勝の地を初の県立都市公園として開園しました。その後中国の豪商呉錦堂が別荘として建てた「移情閣」は、異国情緒豊かな建物で、松林とも調和し、舞子浜のシンボルとして親しまれてきました。そしてここに、中国革命の父・孫文が亡命中立ち寄ったことから、日中国交回復10周年を記念し、昭和59年(1984)、「孫中山記念館」(現「孫文記念館」)として開館しました。このような天下の名勝も都市の近代化とともに変貌を遂げ、今、世界一の吊り橋である明石海峡大橋「パールブリッジ」のゲートとして衣がえし、世界から人々を迎えることになりました。今なお昔日の面影を偲ぶのどかな海峡風景とともに、海上約50mの橋桁の中空に設けたプロムナードによる新しい視点から、橋と海峡の眺めが楽しめることになりました。

**Outline**

The picturesque Maiko Seashore, with its white sand pine groves that attract flocks of plovers, is celebrated in poetry and songs, and been loved by the people who travel here by both land and sea since ancient times. Emperor Meiji took a particular fancy to it and visited as many as seven times. This scenic area was opened as a park under the management of Hyogo Prefecture in 1900. Ijokaku was subsequently built here as the villa of a wealthy Chinese merchant. This exotic building, which now sits in harmony with the pine grove, is considered to be a symbol of the Maiko Seashore. It was opened to the public in 1984 to commemorate the 10th anniversary of the reinstatement of diplomatic relations between Japan and China as the Sun Nakayama Memorial Hall (currently known as the Sun Yat-Sen Memorial Hall.) and it was named after Sun Yat-sen, the father of the Chinese Revolution during his exile in Japan. This famous scenic beauty spot was also an important place for transportation. It has therefore changed its appearance to cope with the modernization of the city. It now serves as the gateway to Pearl Bridge, the world longest suspension bridge, and the Akashi Kaikyo Bridge, and it welcomes people from around the world. Come and enjoy the scenery of the bridge and the channel from the new viewpoint now available on the promenade built approximately fifty meters above sea level between the struts of the bridge.



**舞子公園**

所在地 神戸市垂水区東舞子町  
 開園年月日 明治33年7月25日  
 面積 7.8ha

主な施設 管理事務所・松林・舞子海上プロムナード・孫文記念館・旧木下家住宅・旧武藤山治邸・駐車場・舞子デッキ・コンビネーション遊具

〈明治天皇歌碑〉 〈松籟橋〉 〈根上りの松〉



兵庫県立都市公園  
**舞子公園**  
 Hyogo Prefectural Maiko Park



